

平成28年度秋田大学研究者海外派遣事業により  
実施した研究・教育活動の成果報告について

平成30年9月20日

所属・職名：教育学研究科 教授

氏名：原 義彦

派遣先機関名：ロスキレ大学（国名：デンマーク）

派遣期間：平成29年3月19日～平成29年9月10日

研究課題・目的：フォルケホイスコーレの評価と学校価値設定プロセスの研究

□研究成果（列記願います）

・論文

原義彦「フォルケホイスコーレから日本は何を学んだか？」『デンマークにおける生涯学習実践の構造に関する質的研究（課題番号 15K04321 研究代表坂口緑）報告書』、3-5 頁、2018 年 5 月

原義彦「フォルケホイスコーレの基本価値の類型化と自己評価」『秋田大学教育実践研究紀要』第 41 号（投稿予定）

・学会発表

Yoshihiko Hara “A study on school value in Danish folk high school and its classification”, The 45<sup>th</sup> Congress of the Nordic Educational Research Association, オールボー大学（コペンハーゲン）、2017 年 3 月 24 日

原義彦「フォルケホイスコーレから日本は何を学んだか?」、日本デンマーク外交関係樹立 150 周年記念シンポジウム、明治学院大学、2017 年 12 月 10 日

・その他

原義彦「フォルケホイスコーレから公民館が学ぶこと」『青年広論』第 111 号（2018 年 3 月）2-4 頁

□教育活動等（列記願います）

本研究で得られた調査結果、研究内容の一部を、次の学内外における教育活動の中で取り上げた。

- ・ 本学教育文化学部の専門科目（生涯学習論）、教育学研究科の授業科目（秋田の生涯学習の理論と実践）の海外の事例分析として。（2017 年 12 月 12 日、2018 年 5 月 30 日）
- ・ 秋田市社会教育委員の会議において、「社会教育事例研究 デンマークの社会と大人

の学び：フォルケホイスコーレの世界」のテーマで報告。(2018年2月1日)

- ・ 生涯学習・社会教育関係職員会議（秋田県教育庁主催）において、「これからの社会教育を考える デンマークの社会と大人の学び」のテーマで講義。(2018年2月2日)
- ・ ユネスコ国際理解講演会（秋田ユネスコ協会主催）において、「幸せな国、デンマークの社会、人、学び」のテーマで講演。(2018年4月15日)
- ・ 秋田県大潟村立大潟中学校3年生の「総合的な学習の時間」におけるグループ別活動（デンマークの社会と文化について）の助言指導。(2018年6月29日)
- ・ 岩手大学社会教育主事講習における「生涯学習概論」の講義において、生涯学習施設の事例分析で取り上げた。(2018年7月31日)

**□海外派遣事業中の教育・研究活動が、帰国後の研究等の活動にどのように反映されたかを概括ください。**

派遣期間中は、ロスキレ大学での研究活動に加え、デンマーク国内に点在するフォルケホイスコーレの現地調査に精力をそそぎ、全体の半数を超える35校のフォルケホイスコーレを訪問し、学校運営と評価について聞き取り調査を行うことができた。これにより、フォルケホイスコーレの学校価値と評価の実態の全容解明への道筋がつけられたと考えている。しかし、派遣期間以前の調査校を含めても、まだ現地調査ができていない学校が約30校ある。今後、機会をとらえて、早急に全校の現地調査を完了したい。

また、日本では、第二次世界大戦後、公民館を構想するときの一つの参考例となっているのが約180年前に設立されたフォルケホイスコーレであり、フォルケホイスコーレのこれまでの変容と現状の分析を通じて、現在、わが国の公民館が何を学べるかについて検討することができた。これを公民館経営診断技法の開発に生かしていくことが、今後の研究課題である。